

ニュース ふあいる

■ソネツクが企業版ふるさと納税 中堅ゼネコンのソネツク（高砂市）は、企業版ふるさと納税で稲美町と播磨町にそれぞれ100万円を寄付



し、両町から感謝状を受けた。稲美町は防犯灯や街灯の新設や維持に、播磨町は街頭の「見守りサービス」を使う小学1年生のタグ利用料の無償化に充てた。

同社は企業版ふるさと納税制度を初めて活用し、建設事業を行ったことのある2町など県内6市町に3月、計650万円を寄付した。

稲美町の中山哲郎町長から感謝状を受け取った山本貴弘社長は「写真」は「地域のインフラ建設を担う会社として、地域の皆さんの安心安全、まちづくりにも少しでもお役に立てればうれしい」とあいさつした。

（山路 進）